

## 「e-びーふ」認証制度

### 1 名称 e-びーふ（イービーフ）

### 2 目的

自然生態系(eco-system)の物質循環と経済性(economy)を意識した国産牛肉の生産を目指す。 圃場副産物や農産加工副産物の飼料利用を進め、わが国の飼料自給率向上を図る。また、発生する堆肥の圃場還元により地域内資源循環(環境リサイクル)を完成させる。これらの要件を満たす生産基準を設定し、基準をクリアして生産された肉牛を「e-びーふ」として認証・推奨する。

### 3 e-びーふの認証基準

#### 1) 飼料自給率を 30%以上(乾物ベース)

肥育期間における給与飼料構成の 30%以上を農場内自給、国内産若しくは国内未利用資源の有効活用をしていることを目標数値とする。

ただし、暫定的な処置として 10%以上を後述のステップ認証としてゆく。

なお、申請者が明らかに目標値を達成することを前提とする。

粗飼料の自給率(自家生産もしくは国内生産)は 50%とする。

#### 2) non ホルモン non 抗生物質(常時飼料添加物として使用は禁止。治療用は除く)であり、生産管理日報(環境リサイクル肉牛協議会の作成)を記入し、生産者が書類により証明できる事。

#### 3) 家畜福祉の精神に副った飼養管理のもとで、健康な肉牛生産を行うこと。

#### 4) 糞尿処理は、適正圃場還元を原則としリサイクル農業を完成させる。

### 4 認証制度

#### 1) 認証機関

イ 認証については協議会が行う。

ロ 認証については「e-びーふ」認証委員会を幹事会より選任し協議会内に設置する。

ハ 申請内容に基づき「e-びーふ」の認証作業を行う。

ニ 認証後の追認業務を行う。内容が劣化した場合は認証を取り消す。

#### 2) 認証方法

イ 申請書記入し委員会に提出する。

ロ 委員会で申請書に基づき適格性を検討する。

ハ 現地確認をする。

ニ 上記の内容に基づき委員会にて検討し認証する。

#### 3) 認証基準

絶対条件 3. 1) - 4) の各項目を全てクリアしたもの。

リサイクル飼料 農場内自給、地域内循環している飼料の事。飼料は乾物重割合とする。

使用禁止資材 検討。

レベル条件 10%以上をステップ認証とし下記に記載する。

4) レベル認定 割合で検討する。

ステップ1 給餌率の10%リサイクル

ステップ2 給餌率の20%リサイクル

ステップ3 給餌率の30%リサイクル

以降ステップX 給餌率のX0%リサイクル

5 段階認定の理由

- 1) 地域ごとに粗飼料環境等の違いから、到達目標設定が異なってくる。
- 2) 段階毎の基準設定から、各農場の目標を向上させてゆく。
- 3) 給餌率の割合を実際のデータに基づいて、達成可能な目標設定にしてゆく。
- 4) ステップ1を認定後3年間でステップ3を達成できない場合は認証を取り消す。

6 特徴

- 1) 割合は飼料の乾物重で設定する。水分含みの現物中と異なりより正確性が出る。
- 2) 産肉としての肥育期間限定とする。繁殖育成期間は含まない。

7 認証費用について

承認に関する費用は、実費とする。

認証された個体については、出荷毎に賦課金を申付ける。

8 保証及び期間

協議会認証の認証印・証明書(ラベル等)を発行する。

2001年4月から実施してゆく。

附則：

2009年5月30日 一部改正

2019年6月27日 帯広畜産大学口田教室 検討会でレビュー

## 関係書類 (例)

### 1. 経営全般

経営の場所 北海道〇〇〇

経営面積と飼養状況 〇〇ha (自己所有〇〇ha)

どのような経営を実現しているか(箇条書き)

- 1) 土地が安価なので、草主体の生産体制が組める。
- 2) 化成肥料は使いやすいが、敢えて使用しない。
- 3) 石灰は、製糖工場から出るライムケーキを使用している。
- 4) 繁殖から肥育までの一貫経営を目指す。
- 5) アンガスは土地あった畜種で、大東数肥育、放牧を組み入れた肥育も可能。

農場の見取り図 (全体の規模)

労働力(氏名・年齢) 〇〇 〇(〇〇歳)、 〇〇(〇〇歳)、  
不定期アルバイト 〇名・・・。

### 2. 認定を受けようとしている肉牛の飼養計画 別添

給与飼料について(特徴・導入先等が判るように記載して下さい。)

・濃厚飼料 成分・供給先 別添

遺伝子組み替え飼料混入 不分別

抗生物質・抗菌剤 無し

・イモ皮サイレージ・豆腐粕等 導入先、配合割合 青山商店カルビー 1号

・乾草 品種 リードキャナリー、オーチャード主体、豆科殆ど無し

供給先・供給量 全て自家生産

### 3. 認定を受けようとしている畜舎の飼養状況

見取り図(全体の大きさおよび造りが判るように記載して下さい)

### 4. 認定に当たって視察の悪い時期等

5月;放牧管理、播種で繁忙期につき。

年 月 日

環境リサイクル肉牛協議会  
「e-びーふ」認定委員会  
左 久 委員長 殿

住所 ○○○  
名称 ○○牧場  
代表者 ○○○ 印

## 「e-びーふ」申請書

環境リサイクル肉牛協議会「e-びーふ」認定制度の規定により、下記関係書類を添えて申請します。

添付書類

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.

---

## 「e-びーふ」認定書

住所 ○○○  
名称 ○○牧場  
代表者 ○○○

年 月 日

環境リサイクル肉牛協議会「e-びーふ」認定委員会で審査した結果、ステップXにあることを認定します。なお、次年度におきましてはより高いレベル認定になることを期待します。

環境リサイクル肉牛協議会  
「e-びーふ」認定委員長